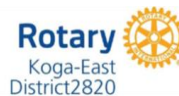




2025.4.22
環境月間

Weekly Bulletin

Vol.39



会長 柿沼利明 幹事 井上 学

Our Slogans & RI President's Theme

「仲間を増やして、強いクラブを作ろう」(古河東 RC 会長 柿沼利明)
BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”(RID2820 ガバナー 大高司郎)
「The Magic of Rotary(ロータリーのマジック)」(2024-25 年度 RI 会長 ステファニー・A・アーチック)

2025 年 4 月 22 日(火) 第2210 回例会

会員卓話

「ロータリーに入ってよかった、いてよかった」
高橋采子会員 植木静子会員

会場:古河商工会議所3F 点鐘:12時30分 ※「ロータリーの目的」唱和

会長の時間(39) 柿沼 利明 「四つのテスト」



全文はこちらからご覧ください。

<https://kogaeast.jp/?cat=9#page-content>

■2025 年 4 月 15 日・第 2209 回例会記録

◆プログラム

点鐘 会長 柿沼利明

ロータリーソング 我等の生業 古河東ロータリークラブソング (ソングリーダー: 中村敦、オーディオ担当: 山本健一)

委員会報告

(1) 会長エレクト 福田優子

【4/13・地区研修協議会報告】午前中は WHO 在職からポリオ根絶活動に関わっておられる尾身茂様の講演、演題が「ポリオ根絶・ロータリーへの感謝と期待」でした。ポリオ根絶最大の難問は「資金」であり、その資金について最初に寄付をしたのが、ロータリークラブ

である。それが多くの方の寄付につながった、このことです。これからもロータリーの寄付が続くことを期待されておりました。

午後の分科会では、米山地区委員のお話を佐谷会員が行ったとお聞きしました。そして地区国際奉仕委員の松本会員も、素晴らしいプレゼンをされておりました。古河東は素晴らしいですね。今までの積み重ねを糧に 2025-2026 年度は、ロータリー行動計画に基づき実行していきたいと思えます。

(2) 職業奉仕委員会 委員長 松井実

【5/20・職業奉仕イベント】エコフロンティアかさま見学の行程が確定しました。

朝 7:50 古河駅東口発～「エコフロンティアかさま」

10:15 着～宍戸ヒルズカントリークラブ 12:15 着～
「道の駅グランテラス筑西」14:50 着～古河駅東口 17:
20 着。詳細のご案内はレターボックスに配布しました。

出欠は、例会場後方設置の出欠確認表に必ずご記入
ください。

(3) 青少年奉仕委員会 委員長 古谷由紀子

【わたらせ水辺の楽校】5/10(日)第1回自然体験イ
ベントが開催されます。

【テント寄贈】古河市立名崎小学校へテントを寄贈し
ました。贈呈式を5月2日(金)13時から行います(約
10分)。代表の生徒さんもらっしゃいます。緑のクラ
ブジャンパーを着用の上ご参加をお願いします。

(4) 国際奉仕委員会 委員長 板橋孝司

【多文化共生フォーラム慰労会】5/6(火)夕方、やな
ぎや遊水亭にて慰労会の開催を予定しています。参加
会員のほか、国際交流協会をはじめご協力くださった
皆様にもお声がけします。出欠を例会場後方設置の出
欠表にご記入ください。

(5) 米山カウンセラー 高橋采子

【オリエンテーション+新米山奨学生】米山記念奨学
会 2025 年度オリエンテーションが、4/12 にホテル日
航つくばにて、開催されました。久々の米山記念奨学
会の会合に参加して、古巣に戻ってきたような気がし
ました。

2025 年度新規奨学生 29 名、継続奨学生 7 名の合計
36 名で内訳は、中国 8 名、インドネシア 5 名、韓国 4
名、ベトナム 4 名、スリランカ 3 名、ネパール 2 名、
モンゴル 1 名、台湾 1 名、マレーシア 1 名です。

指定校としては、東京藝術大学、AOI 国際福祉専門
学校、茨城大学、筑波大学、流通経済大学、アール医
療福祉専門学校、日本国際学園大学、駿優国際医療ビ
ジネス専門学校の 9 校です。

古河東で今年度お世話することになった奨学生は、
ベトナム出身の「グエン ティ トウ チャン」さんです。
流通経済大学 4 年、流通情報学部、流通情報学科で「気
候変動が物流に及ぼす影響とその予防的解決策」につ
いて研究をしています。

出席状況報告 出席委員会 委員長 福富好一

第 2208 回(4月15日)会員数 40 名(免除者 0 名)
／出席又は事前 Make-up 会員数 27 名／出席 67.50%

スマイル報告 スマイル委員会 古谷由紀子

柿沼会長、井上幹事、山崎 PDG、石川、大谷、小倉、
小林、坂田、佐藤、杉岡、武澤、福富、松井、山本、
板橋、大橋、久野、小森谷、佐谷、高橋、中村、福田、

三田、古谷(由)、山腰 以上 25 名 60,000 円／これ
に加え、4/8 合同例会参加者会費 2,000 円×31 名＝
62,000 円／累計 1,623,868 円／目標額・2,000,000 円
／目標達成率・81.19%

▶スマイルメッセージはこちら(会員限定)

https://kogaeast.jp/?page_id=683

幹事報告 幹事 井上学(下記参照)

点鐘 会長 柿沼利明

◆幹事報告 幹事 井上学

▶持ち回り理事会報告

1 6月プログラム変更の件

第1週目(第2216回)例会

(変更前)「ロータリーに入って良かった、いて良かつ
た」久野茂会員、森敏夫会員

(変更後)追悼例会、故海老沼堯会員を偲び

2 4月プログラム一部変更の件

第四週目(第2210回)例会

(変更前)「ロータリーに入って良かった、いて良かつ
た」高橋采子会員、猪瀬一也会員

(変更後)「ロータリーに入って良かった、いて良かつ
た」高橋采子会員、植木静子会員

3 5/20(火)「エコフロンティアかさま」職業奉仕イ
ベント、昼食と帰路の追加の件

4 4/8 小山南ロータリークラブとの合同例会による
参加費@2,000円×31名分を不足するスマイルへ
投函とする件

5 現役会員のご逝去(せいきょ)に際し大高司郎ガ
バナールより弔辞を頂く件

6 6/10 新旧委員長会議の際の会費。一人当たり
@3,000円/人

→ いずれも承認

▶幹事報告

・古河市国際交流協会より会報、古河市観光協会よ
り古河桃祭りのお礼状、水戸4クラブより週報が届
いています。後方閲覧ブースにてご覧ください

・皆さんのレターボックスに抜萃(ばっすい)のつづ
り、小山南 RC との合同例会の集合写真を入れた
したのでご覧ください。

・すみれ会からお菓子の差し入れがございました。



◆お客様卓話「環境月間」に因み
「利根川及び渡良瀬遊水地の河川環境について」
利根川上流河川事務所流域治水課課長
大島秀則様



利根川の自然環境【上流部】

- 群馬県利根川市から利根川までの上流部は、蛇行河川が形成され、遊水地の淵には、アユ、ウグイスが生息し、淵は、群馬県内最大のアユ等の産卵場、生息場となっています。
- ワンド・たまりには、ムサシノジュスカケハゼ等の魚類が生息します。遊水地には、カワラシロ等の植物が生息し、カワラシロ等の植物が生息しています。
- 遊水地には、カワラシロ等の植物、ユキアザミ、シギ・チドリ類等の鳥類が生息しています。

利根川上流 河川事務所 10

利根川の歴史

- 徳川家康が関東に転封となった4年後の文禄3年に利根川の湖漕（人為的な河道の付替え）等の工事に着手し、約60年間にわたって江戸に流れていた利根川を太平洋に注ぐ河川改修を行い、現在の利根川の骨格が形成されました。
- これが後にいわれる「利根川の東遷」です。
- 東遷の目的は湖漕であり、埼玉平野の郡田開発、舟運の発達、江戸を水害から守るためと考えられています。

利根川の東遷

利根川上流 河川事務所 3

利根川の自然環境【中上流部】

- 利根川大塚から千葉県印西市までの中上流部は、広大な河川空間が形成され、淵には、オオカワ、ニゴイ等の魚類、ワンド・たまりには、ギンツナ等の魚類が生息しています。
- 河原には、ヤナギ類等の河原林やヨシ原が見られ、オオヨシキリ、ノスリ等の鳥類が生息しています。
- 遊水地には、ハンゲショウ、ヤマミズグサ等の植物が生息し、中洲等にはシギ・チドリ類等の鳥類が生息しています。

利根川上流 河川事務所 11

洪水の歴史

- 昭和22年（1947年）9月カスリーン台風と前線活動の相乗効果でもたらされた記録的豪雨により、関東の各河川は、異なる場所が決壊、甚重な被害を被りました。
- 令和元年東日本台風（2019年）は、関東・東北・北陸等の広い範囲で大雨をもち、関東でも荒川水系、久慈川水系、那珂川水系などで堤防が決壊しました。
- 利根川においてもカスリーン台風に匹敵する降雨が発生しましたが、八ッ場ダムなどの上流ダム群や渡良瀬遊水地などの中流部の大規模な遊水地、堤防の嵩上げや拡幅、強化などがその効果を発揮し、利根川の決壊という壊滅的な災害を防ぐことができました。

カスリーン台風

洪水流量：八斗島 21,100m³/s

令和元年東日本台風

洪水流量：八斗島 17,500m³/s

利根川上流 河川事務所 4

利根川の自然環境【中下流部・下流部】

- 印西市から利根川河口までの中下流部は、河床勾配は緩やかで、河口部の渚水間帯となっており、ヨシ原には、オオセッカ、コジュリン等の鳥類が生息し、ワンド・たまりには、モツゴ等の魚類、イシガキ類等の底生動物、トウキョウダルマガエル等の両生類、ミズアオイ等の植物が生息・生えています。
- 河原には、カモ類、サキバ、カモメ類等の鳥類が生息する。ヨシ・カサガサ群落が広がる高水原は、我が国固有のオオセッカの繁殖地となっています。
- 利根川河口から河口までの下流部は、ヨシ原には、ヒスマイトトンボ、キイロホログミムシ等の水生昆虫が生息し、水域にはニホンフナギ等の回遊魚やスズキ、ボラ等の魚類が生息しています。
- 干潟は、シギ・チドリ類等の鳥類によって渡りの中継地となっており、エドハゼ等の魚類やヤマトシロ等の底生動物が生息しています。

利根川上流 河川事務所 12

渡良瀬遊水地

- 明治43年洪水を契機に渡良瀬遊水地工事が着手され、大正11年に完成し、下流の洪水被害の軽減を図ってきました。
- その後、昭和22年洪水の後を鑑み、より効率的に洪水を調節するため、調節池化工事が着手され、平成9年に完成しました。

渡良瀬遊水地の経緯

- 明治43年～大正11年完成
 - 明治43年洪水を契機
 - 重要河川（原色）を沿って「渡良瀬遊水地」事業に着手
 - 遊水地に洪水を一時的にため、下流の洪水被害を軽減
- 昭和22年～平成9年完成
 - 昭和22年洪水を契機
 - 昭和22年洪水を契機に「調節池化」事業に着手
 - 調節池（黄砂）を貯留し、洪水を一時的にため、下流の洪水被害を軽減
 - 調節池を「一年間の貯留」
 - さらに洪水被害を軽減させ、遊水する空間の必要量に対応する必要があります
 - 調節池内（黄砂）を貯留する「貯留池」事業に着手
 - 洪水が貯留池に溜まり、洪水時に「貯留池」を通過する容量を確保

調節池の規模

調節池名	貯留容量 (万m ³)	調節池名	貯留容量 (万m ³)
S47.9 (台蔵第20号)	240	H14.7 (台蔵第8号)	7,830
S57.8 (台蔵第10号)	1,808	H19.9 (台蔵第9号)	5,370
S57.9 (台蔵第18号)	3,335	H23.9 (台蔵第15号)	4,940
H3.8 (台蔵第12号)	658	H27.9 (台蔵第17号-16号)	10,730
H10.8 (台蔵第10号)	846	H28.9 (台蔵第21号)	5,530
H10.9 (台蔵第15号)	633	H29.10 (台蔵第19号)	16,440
H11.8 (台蔵第11号)	517		
H13.8 (台蔵第11号)	50		
H13.9 (台蔵第15号)	8,120		

利根川上流 河川事務所 6

渡良瀬遊水地の自然環境

- 渡良瀬遊水地は、渡良瀬川、思川、巴波川の合流地点に位置し、面積約3,300haの広大なオープンスペースを有する遊水地です。
- 約1,500haに及ぶ広大なヨシ原等の湿地が広がり、動物群や水分条件の違いにより立地条件は多様で、植物約1,000種、昆虫約1,700種、鳥類約270種が生息・生息しており、絶滅危惧種も多く生息されています。
- 高次消費者のチュウビなど猛禽類が多く生息する多様な生態系が成立しており、広大なヨシ原や樹木などが食物連鎖の基盤を支えている重要な役割を果たしています。

利根川上流 河川事務所 17

環境保全・創出の取組 渡良瀬遊水地

●渡良瀬遊水地では、平成25年に「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」が設立され、ラムサール条約の目的である「保全・再生」と「賢明な利用」を推進する「交流・学習」の取組を通じて、住民一体となった取組が進められている。湿地の保全・再生は、堤防整備の土砂採取を兼ねて取組を進めている。

●湿地の保全・再生

【地域住民等による環境維持活動】
渡良瀬遊水地の豊かな自然環境を守るため、地域の住民、NPO等により、清掃活動や外来種の駆除等の多様な活動が実施されている

【湿地の創出】
湿地環境の保全・再生を図るため、多様な動植物の生息場を創出、創出した湿地を学術調査や環境学習に活用されています

【交流・学習】
【環境・体験学習】
「体験学習センターわかたせ」や遊歩道では、遊水地の利活用及び湿地環境に関する情報提供を行っている。定期的に自然環境について学ぶイベントが開催されています

【コウノリの生息環境保全】
コウノリの定住促進のため、ふゆみずたんぼ・なつみずたんぼや、人工集水域などの取組がなされています

【ヨシ植え】
真直植物の発芽促進、病害虫駆除等を目的にヨシ植えを実施。環境変化対応、広大なヨシ原が維持されています

【賢明な利用】
【多様な生物・特産物等をシンボルとした商品開発】
地元の自然資源を活かした特産物等について、販売等普及に努める取組が行われ、利益の一部が湿地の保全活動に提供される仕組みの整備も進められています

利根川上流 河川事務所

気候変動を踏まえた治水計画の見直し

●全国の水系において、治水計画を「過去の降雨実績」に基づく計画から「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直しが行われています。

これまで
洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

しかし、
気候変動の影響による降雨量の増加、潮位の上昇などを考慮すると現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

気候変動による降雨量の増加、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

気候変動シナリオ 2℃上昇相当	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模(1/100等)) 約1.1倍
全国の平均的な傾向【試算結果】	流量 約1.2倍
	洪水発生頻度 約2倍

※ 河川整備を計画及び計画外自然環境の調査結果は、一般平均の河川整備の基本とする洪水規模(1/100~1/200)の降雨量増加率を算出した場合と見直しを決定した。詳細は河川整備の計画書参照

【出典】17日 河川整備基本方針検討小委員会 参考資料②

今後の予定

日程	会場	内容
第2211回例会 4月29日(火)	-	第5週につき法定休会
第2212回例会 5月6日(火)	-	法定休会(振替休日)
第2213回例会 5月13日(火)	古河商工会議所 3F	月初めのお祝い 5月生まれの方 会員卓話「研究論文について」 栗田吾郎会員
第2214回例会 5月20日(火)	エコフロンティア かさま	環境をテーマとした職場訪問(笠間市福田165-1) 古河駅東口午前7時50分出発、午後5時20分帰着予定
第2215回例会 5月27日(火)	古河商工会議所 3F	お客様卓話「青少年奉仕月間」に因み 地区ローターアクト総括委員長 塚越俊祐様(つくば学園RC) 【「ロータリーの目的」唱和】
地区行事等		
6/8(日)	第2回会長・幹事会	
6/14(日)	クラブ活性化セミナー(旧会員基盤向上セミナー)	
6/21(土)~25(水)	国際大会(カルガリー)	

会員向け連絡先

例会欠席時のご連絡先 kesseki.rnrk@gmail.com 又は 杉岡 S A A まで

週報原稿のご送付先 kogaeast.newsletter.2425@gmail.com 又は 齊藤まで

当クラブへのお問い合わせ先(24-25年度)

〒306-0631 茨城県坂東市岩井4709番地 柿沼利明税理士事務所内

事務局電話：0297-36-2553 事務局FAX：0297-34-1118

メール：aam52570@nyc.odn.ne.jp

<文責>古河東ロータリークラブ会報IT委員会(齊藤、佐谷、松井、小森谷、大谷)



創立 1982年7月6日 例会日：火曜 12時30分~13時30分

例会場：古河商工会議所(古河市鴻巣1189-4) 例会場電話：0280-48-6000 例会場FAX：0280-48-6006

<https://kogaeast.jp>